

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第21週 (ARIのみ第20週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (21 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 4 例、百日咳 82 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	女	肺結核及び粟粒結核	発熱
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	60歳代	男	O115(VT1)	腹痛、水様性下痢、嘔吐
5類	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	宮崎市	40歳代	女	—	ショック、急性呼吸窮迫症候群、 軟部組織炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳
		小林	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結

	疾患名	報告 保健所	報告数	年 齢 群							症 状	
				0～4歳	5～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代		70歳代
5類	百日咳	宮崎市	20例	1	4	13		1		1		持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、スタックート、ウーブ、 嘔吐、無呼吸発作、その他
		都城	25例	2	8	13		1			1	
		延岡	7例		3	4						
		日南	11例		2	8			1			
		高鍋	14例	2	2	9				1		
		日向	2例			1	1					
		中央	3例	1	1	1						

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 21 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 249 人(定点当たり 16.9)で、前週比 84%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、第 20 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,501 人(定点あたり 53.6)で、前週比 125%と増加した。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 21 人(1.4)で、前週比 62%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.2)の約 0.4 倍であった。年齢群別は 4 歳から 8 歳が全体の約 8 割を占めた。

【感染性胃腸炎】

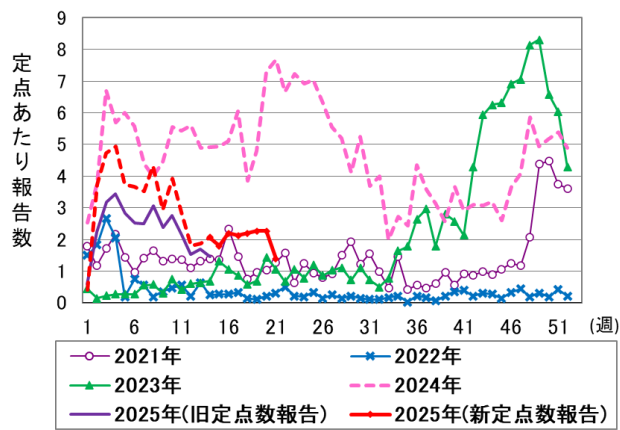
報告数は 151 人(10.1)で、前週比 83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (9.7)の約 1.0 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は 20 人(1.3)で、前週比 143%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.4)の約 3.8 倍であった。年齢群別は 1 歳から 9 歳が全体の 9 割を占めた。

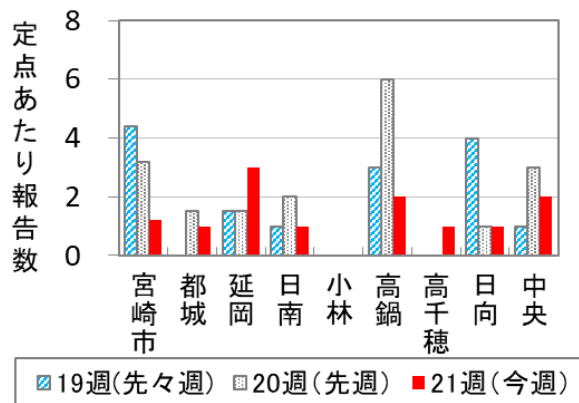
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の
当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

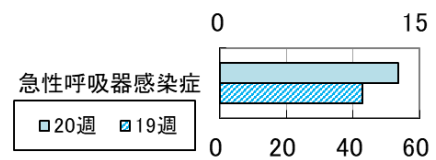
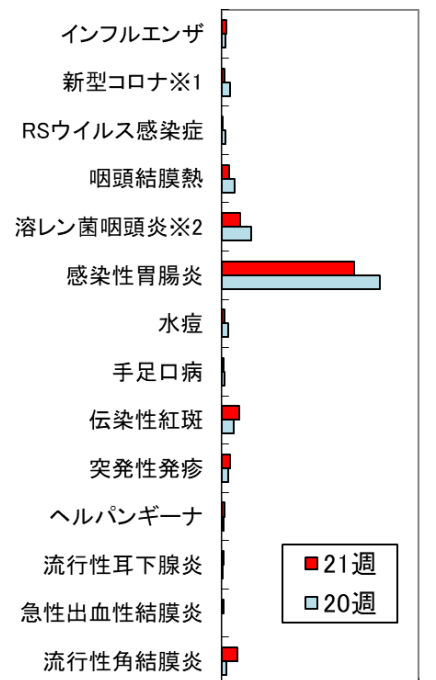


※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3 週分)



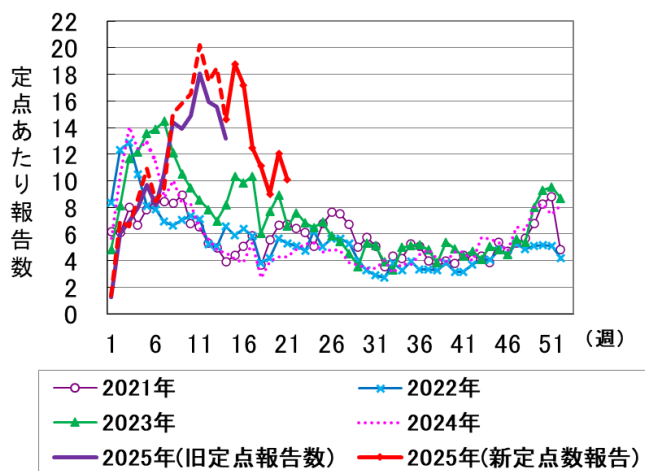
《前週との比較》



定 点 点
あ 点
た 点
り 点
報 点
告 点
数 点

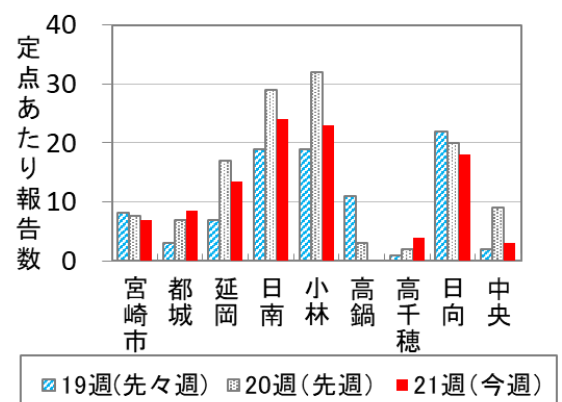
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

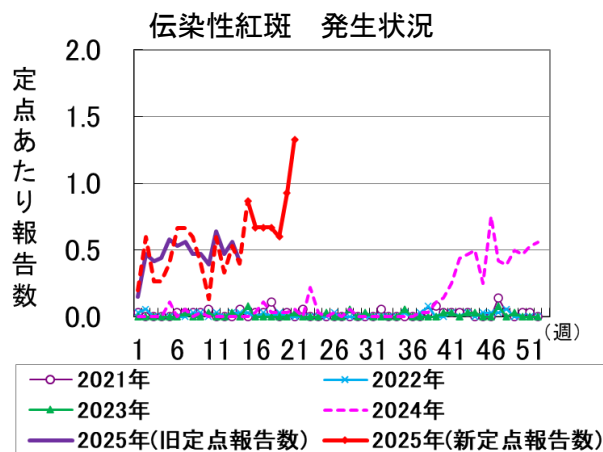
感染性胃腸炎 発生状況



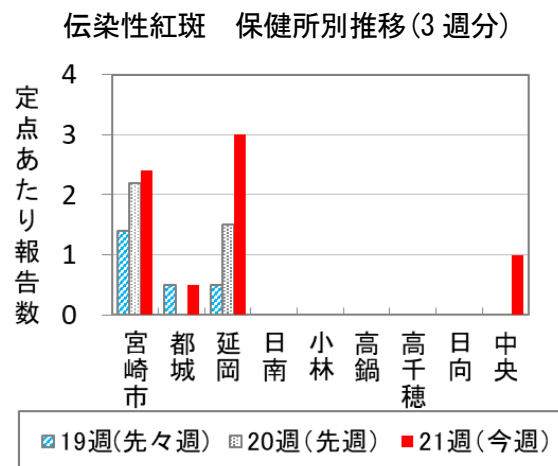
※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

感染性胃腸炎 保健所別推移(3 週分)





※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、高鍋保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(2.4)
都城	なし
延岡	水痘(1.0)、伝染性紅斑(3.0)
日南	感染性胃腸炎(24.0)
小林	感染性胃腸炎(23.0)、水痘(1.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第20週:5月12日～5月18日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	2
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		3
	4型		1
ヒトメタニューモウイルス			1
ライノウイルス			3
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			6
受付検体数			16

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 5 月 26 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	5～9歳	女	2025.04.23	急性胃腸炎、下痢、発熱、腹痛、嘔気	便	2025.05.08

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Astrovirus 1	0～4歳	女	2025.04.09	感染性胃腸炎、38.1℃、下痢、嘔気、嘔吐	便	2025.05.26
Influenza virus B (Victoria Lineage) ※	10歳代	男	2025.04.15	インフルエンザB型、38.5℃、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2025.05.20
Influenza virus B (Victoria Lineage) ※	10歳代	女	2025.04.28	インフルエンザB型、38.3℃、気管支炎	鼻汁	2025.05.20

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

🇯🇵 全国 2025 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	195 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	58 例	腸チフス 1 例
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	1 例	オウム病 1 例
	重症熱性血小板減少症候群	11 例	つつが虫病	12 例	デング熱 3 例
	日本紅斑熱	29 例	レジオネラ症	41 例	レプトスピラ症 1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 10 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 22 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 23 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	92 例	水痘(入院例)	11 例	梅毒 201 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳 2299 例
	麻しん	6 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 134%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患は特になかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 127%と増加した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 7,520 人(3.2)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.8)の約 1.1 倍であった。茨城県(5.9)、栃木県(5.8)、愛媛県(5.6)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 18,117 人(7.7)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (6.6)の約 1.2 倍であった。愛媛県(14.6)、大分県(13.1)、岡山県(12.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 4,834 人(2.1)であった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.4)の 4.9 倍であった。栃木県(7.6)、群馬県(6.5)、山形県(6.3)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 7 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	8	11	3		2		4			1	1
	定点当り	0.29	0.39	0.33	0.00	0.67	0.00	2.00	0.00	0.00	0.50	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	18	7	2		1				1	3	
	定点当り	0.64	0.25	0.22	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	1.50	0.00
RSウイルス感染症	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.27	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	9	5	3						1	
	定点当り	1.00	0.60	1.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	34	21	6	2	6	1		2	1	1	2
	定点当り	2.27	1.40	1.20	1.00	3.00	1.00	0.00	2.00	1.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	181	151	35	17	27	24	23		4	18	3
	定点当り	12.07	10.07	7.00	8.50	13.50	24.00	23.00	0.00	4.00	18.00	3.00
水痘	報告数	8	3			2		1				
	定点当り	0.53	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	2	2								
	定点当り	0.20	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	14	20	12	1	6						1
	定点当り	0.93	1.33	2.40	0.50	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	7	10	2		5		2				1
	定点当り	0.47	0.67	0.40	0.00	2.50	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	2	1							
	定点当り	0.13	0.20	0.40	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2	1								1
	定点当り	0.07	0.13	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.17	0.00	0.50	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	7	4		3						
	定点当り	0.33	1.17	1.33	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1						1			
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6										
	定点当り	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第20週(05月12日～05月18日)												
		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	1198	1501	517	76	190	96	258	80	31	148	105
	定点当り	42.79	53.61	57.44	19.00	63.33	48.00	129.00	40.00	15.50	74.00	52.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～21週 保健所受理分)

2類感染症	結核	45例(1)				
	腸管出血性大腸菌感染症	2例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	8例	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8例(1)	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	17例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	57例(4)	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例	百日咳	840例(82)		